

科目名	日常生活援助学実習				授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修	
〔授業の目的・ねらい〕									
日常生活活動の動作分析を行い、問題点や原因を考え、作業療法に結びつける力を修得する									
〔授業全体の内容の概要〕									
日常生活動作の分析技能の向上を図るために、各疾患ごとの特徴を踏まえ、様々な視点から問題点や課題抽出を行う。またICFに基づき、個人因子や環境因子との関連性も含めて日常生活動作を広く捉える。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕									
基本動作(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗など)、移動、日常生活活動について分析ができ、様々な疾患の特徴を理解したうえで、適切な援助や介助ができる。									
回数	講義内容								
1	日常生活活動の分析【姿勢の分析】								
2	日常生活活動の分析【動作分析】								
3	基本動作の分析【寝返り・起き上がり・座位保持】								
4	基本動作の分析【立ち上がり・移乗】								
5	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【関節リウマチ】								
6	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【整形疾患】								
7	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【食事・整容】								
8	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【更衣】								
9	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【排泄】								
10	日常生活活動の正常動作の特徴と分析【入浴】								
11	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【老年期障害】								
12	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脳血管障害】								
13	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脳血管障害】								
14	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【老年期障害】								
15	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【高次脳機能障害】								
16	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【高次脳機能障害】								
17	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脊髄損傷】								
18	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【脊髄損傷】								
19	【自助具作成演習】								
20	【自助具作成演習】								
21	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【難病】								
22	(疾患別)日常生活活動の特徴と分析【難病】								
23	【まとめ】								
定期筆記試験									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
新版 日常生活活動(ADL)-評価と支援の実際-					伊藤利之 他		医歯薬出版		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする									